



トアロード モダン・フォトグラフィ

— 中山岩太展より

呉 宏明

（京都精華大学人文学部教授、
聖ミカエル国際学校評議員）

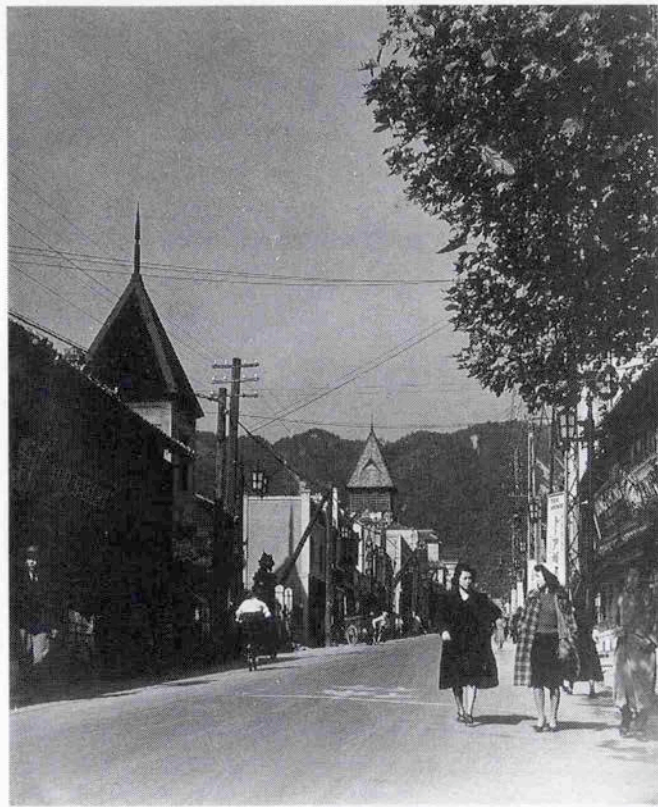
トアロードの街づくり
を考えるとき、戦前のト
アロードの街並みがどの
ようなものであったのか、
どういう建物や商店があ
ったのかを詳しく知る必
要がある。しかし、戦後
五〇年たった現在、当時
の面影を語ってくれる人
が年々減ってきている。
昔のトアロードを知る手
がかりとして、今回は神
戸大丸店で開催された
「中山岩太展」に含まれ
ているトアロードの写真三
枚を紹介したい。



トアホテル（1939）

このホテルの建物は1907年に完成し、翌1908年7月に開業された。トアロードの地名はこのホテルの名前に由来しているが、「トア」の語源には諸説がある。ホテル開業以前、トアロードは「三宮ロード」と呼ばれていた。トアホテルは東京の帝国ホテルと並ぶ日本の代表的なホテルとしてその評判のよさが内外に知られていた。本来はドイツ人の経営によるものであったが第1次世界大戦後、経営はその他の外国人に移った。トアホテルの建物はドイツのライン川の畔の古城を模したといわれているが、第1次世界大戦後はスイス・シャレー様式であると言われた。

戦後、進駐軍が将校のクラブとしてこのホテルの建物を使用した。火の不始末から全焼してしまい、後に神戸外国倶楽部がこのホテルの跡地に1955年に建てられたのである。トアホテル開設当時、庭園にあった鳥居のひとつとドイツから取り寄せられたヒマラヤ杉3本が当時のなごりをいまでも伝えている。



写真は、芦屋市立美術館とご遺族の了承を得て、下記の写真展に出品されたものの中から、転載しました。

「モダン・フォトグラフィ 中山岩太展」

(9/7~10/20 芦屋市立美術館)

「神戸モダニズムの光彩 中山岩太展」

(9/26~10/1 大丸神戸店 7F 特設会場)

戦前のトアロードの街並みをご存じの方は、
編集部・矢ジマまでご連絡ください。

2つの尖塔 (1939)

2つの尖塔が見える写真にはパン店トアベーカリーの看板が見える。トアロードには、現在のハローワーク神戸の裏手と、タイプライター店の一角に2つのキリスト教の教会があったといわれている。これらの建物のことに関して詳しい話をぜひお知らせ願えたら幸いである。



高架の南側一帯 (1939)

これは現在の喫茶店パウリスタビルの南側から撮られたものと思われる。右から書かれた「パウリスタ」の「リスタ」のカタカナ三文字が「アサヒビール」の広告の上に見える。パウリスタの南側には、三宮神社の鳥居が位置し、境内には、サンノミヤ・キネマともうひとつの映画館があり、また芝居小屋もあったといわれる。この周辺は三宮界隈でも一番賑わったところであった。この写真の中央にある「カワナミ商店」は現存するが、この角を東に入る三宮本通りは、人通りの多いところであった。

居留地と外国人の住宅地北野町を結ぶトアロードには外国人が経営する店や外国人を対象とする店が点在していたが、高架の南側には庶民が集まる繁華街が共存していたことは、トアロードの復興と活性化を考える上で、おおいに参考になろう。

第10・11回神戸景観・ポイント賞

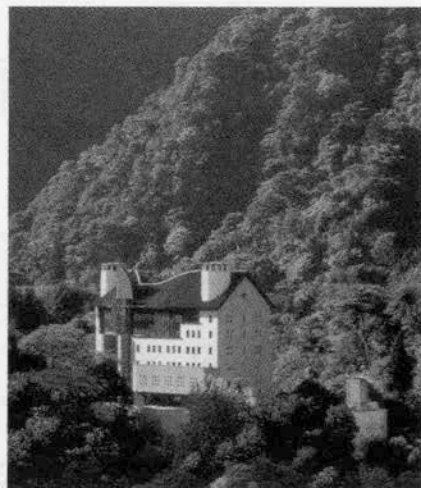
神戸らしい都市景観の形成に寄与した建築物、建築行為に与えられる「神戸景観・ポイント賞」が10月4日、神戸市都市計画局より発表されました。

<神戸景観・ポイント賞受賞作品>

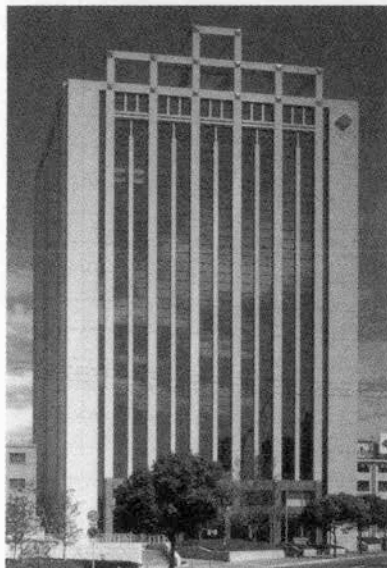
Award for Urban Design of Kobe 1996



神戸メリケンパークオリエンタルホテル
神戸港にふさわしいランドマークの創出と夜景の演出



月光園 鴻臚館
観光まちづくりへの先導的役割



魚崎郷 再建酒蔵群
街並みへの配慮と震災復興への貢献

吟醸工房 浜福鶴

住友ゴム工場株式会社本社ビル
地域の新しいランドマークの創出と公開空地のしつらえ

●その他の受賞作品

金沢三宮ビル
デビス・パーキング
KOBÉ-3
宮前写真場
日本イエス・キリスト教団垂水教会
三宮インテス・プラザビル

●特別賞

山口・松田・大塚・中村邸協調建替
クイン靴店
雅苑酒家本店・楽園ビル電飾
鷹取地区周辺ウォールペインティング
がれきに花をさかせましょう
鐘紡舞子倶楽部

よみがえる旧居留地

★佐藤しのぶさん

「廃墟より希望を歌う」

「歌を通してみなさんの心を癒すことができれば」

九月十一日夕刻、中央区江戸町でソプラノ歌手・佐藤しのぶさんの野外チャリティーコンサートが開かれ、集まった観衆は夕日に染まる、旧居留地のオペラ座[※]を築んだ。

震災で全壊した「東町ビル」から「江戸町ビル」の跡地に設けられたステージで歌劇「蝶々夫人」の「ある晴れた日に」などを歌った佐藤さんは、「お役に立てることがあれば、いつでも呼んでください。強く強くがんばってください」と、被災者らをねぎらった。

コンサートは同ビル住民による再建組合が佐藤さんを招いたもので、コンサート前には再建のための地鎮祭が行われた。参加した住民のなかには高齢者も少なくなく、震災で負傷したのか腕にギブスをつけたり車椅子で列席する人の姿も見られた。

兵庫県住宅供給公社の再建事業により、「東町ビル」と「江戸町ビル」は二棟を一棟にした十八階建て住宅になる。一階部分にショールームやブティックを誘致し、外観は旧居留地の景観を生かしたデザインを採用。完成予定は二〇〇〇年十二月。

★旧居留地にはオペラ座がよく似合う

「神戸はイメージの街で実体はあり



ビルの谷間に佐藤しのぶさんの美声が響いた

ません。そのイメージに肉づけしていくことが必要です。例えば、旧居留地は音楽的プロムナードをつくるには最適の立地だと思っています」

佐藤さんを招いた再建組合の池田肇理事長は、十年前から「旧居留地にオペラ座[※]」が持論だ。

旧居留地には夜がないという。ビジネス街であるため、住民人口がセンター街をいれても四百人に満たないからだ。

「街というものは、働き、遊び、住む場所であって、それらが渾然一体となっているのがいいんです」と、佐藤さんは街としての魅力を語る。

「職」と「住」を分離させることは、ただ働くだけの場所と快適な(？)住

環境を求める人々の思いと一致し、合理的な都市を生み出した。職住分離によって都市は拡大し、神戸では北区や西区などの発展につながった。その一方、都心の人口流出によるドーナツ化現象にも拍車をかけた。

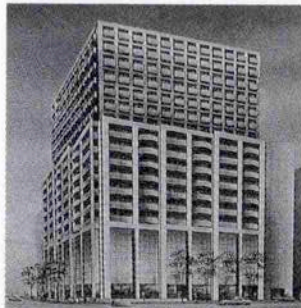
どうすれば都心に住む人を増やすことができるのか。金と技術を駆使して、「職」「住」「遊」の接近した新しい街をつくることもひとつの方法だろう。だが、従来の「神戸らしい」まちなみを生かしつつ求米的な都市はできないものだろうか。

一階部分に店舗スペースが設けられる「東町ビル・江戸町ビル」は、「住」と「遊」が融合した都心の集合住宅として生まれ変わる。

「ゆくゆくは居留地にオペラ座をつくり、それが世界のオペラの東洋定期公演の場になれば」

池田さんの夢はふくらむ。

(本誌・矢ジマジュン)



東町ビル・江戸町ビル住宅の再建イメージ図

●神戸のまちづくりや小誌に対する「意見」を左記までお寄せください。

〒650 神戸市中央区下山手通3・1・18

ツインストアビル4F

「月刊神戸子・矢ジマ」

摩訶不思議

TAKARAZUKAに迫る

対談 Vol. 12 宝塚と空間

空間は見せる演出プランを 具現化する美術で埋まる

酒井澄夫 VS 朝倉 摂

〈宝塚歌劇団演出家〉

〈舞台美術〉

職業意識がついて回るんですね。

酒井 楽しんではいても、どこかではつと気になることがあつたりしますね。昔から、朝倉先生とはなんとなく縁があつて。観客としても60年代の新しい新劇の時代のお仕事を拝見していったんです。僕自身、新劇が三劇団できたところが舞台の見初めて、きちつとしたものが変わってきた次の時代に先生が出て来られて、びっくりするようなセットを作られた。朝倉 アートシアターの映画が終わった後にやつたり、小さな劇場の仕事もよくやつていました。

酒井 一つのセットだけですべての芝居を語るとか、そういうところに感動したのを覚えてます。宝塚の場合レビューが主体なので、なかなか縁がなかったんですが、先生はアメリカにお詳しいし、ニューヨークのミュージカルなので今回初めてセットをお願いしました。

朝倉 「ハウ・ツー・サクシード」は去年ブロードウェイで見ました。ハイテクの素晴らしいセットでした。

酒井 セットというよりむしろ映像なんです。それは宝塚の雰囲気とは違うので、先生の独特のタッチでお願いできればと。

朝倉 最近、お世辞でなく感じるのは、宝塚が商業演劇の中で純粋性があるというか、常に物を学んでいるところがあるなと思います。

酒井 それで80年続いているんですね。80年続いた劇団はない。もちろん創始者の方のアイデアが一本の線としてちゃんとあつたことも大きい。宝塚の良い点は、いつの時代も今に生きているんです。あまり先端を走ると観客がついてこない。ある意味では先生のお仕事も似たような部分がありますね。時代の先端を行き過ぎているようで少し手前で止まる。

朝倉 止めないよね。

宝塚歌劇の幅広い、多彩な魅力に迫る対談シリーズ。12回目のキーワードは「空間」。

日本物から洋物、芝居、ショー、そして翻訳ミュージカルまで、幅広い演出で定評のある演出家、酒井澄夫さん。ブロードウェイミュージカル「ハウ・ツー・サクシード」を手掛けるにあたり、日本の舞台美術の第一線で活躍中の朝倉摂さんが、初めて宝塚の装置を担当することになりました。今回は舞台の魅力を支える空間作りを語っていただきました。

朝倉 宝塚は娘時代からよく見ていたんです。葦原邦子さんがいらしたころでしたね。最近ではテレビの舞台中継を欠かさず見えていますし、東京の宝塚劇場でも見えています。観客で見ているつもりでも、ついついあそこはこうなるだろうとか、



朝倉 撰=あさくら せつ 東京出身。70年ロックフェラー財団の招きで舞台美術研究のため渡米。帰国後多彩な作品の美術を担当。なかでも市川猿之助のスーパー歌舞伎や蜷川幸雄作品での美術は、内外で高い評価を受けている。現在、日本劇場技術家協会会長ほかの役職を務め、日本の第一線の舞台美術家として精力的に活動中。



酒井 澄夫=さかい すみお 59年宝塚歌劇団入団。65年『おやゆび姫』でデビュー。現代感覚にマッチした和洋のショーや『ガイズ&ドールズ』などの海外ミュージカルの脚色・演出、麻美れいのリサイタルをシリーズで演出するなど守備範囲は広い。現在、宝塚歌劇団理事、文芸音楽室長を務めている。次回作は12月宝塚大劇場『グランド・ベル・フォーリー』

酒井 歌舞伎の世界でも猿之助さんと照明の吉井澄雄さんと先生が組まれて新しい歌舞伎を生み出された。朝倉 機会に恵まれてお仕事をさせていただいているのは幸せだと思っています。いくら頑張っても場がないとうまくいかないですよ。クラシックバレエに始まって、新劇、歌舞伎、宝塚までたどり着きました。

酒井 先生はプランのイメージはどんなところから始められるのですか。

朝倉 ふだんからいろんな本をよく読むことです。それと今度の場合はニューヨークが舞台ですから、ニューヨークのイメージを大事にしないといけない。ニューヨークでもテネシー・ウイリアムズとか他の作家の話であればまた別の形になってくる。台本は、文章と文章の間に空いてますよね。その真っ白な部分を埋めようと思う。演出家がどういうことを考えているかを聞いて、それをくみ取って十二分に表現できるような形に作っていく。それが舞台美術の仕事じゃないかと思っています。おもしろいことに、演出、装置、衣装、音楽、振り付け、照明、そういうものがひとつにならないといけないものではない。

酒井 今回振り付けを担当したウエイン・シレントもそのことはとても強調していましたね。それぞれが個別になつてしまつていけない。それは世界のどの舞台でも同じことです。特にミュージカルの場合はそれが欠けてもダメ。振り付けにしても、あくまでもストーリーに添ったものでなければ、どんなにいい振りでも意味がないと言っていましたね。

朝倉 「オペラ座の怪人」を見ると、イギリスの作品だなと思います。「レ・ミゼラブル」にしてもそうですが、イギリスのミュージカルは芝居的テーマがものすごくはつきりしている。「グランドホテル」は、いかにも

アメリカのミュージカルです。アメリカのものはバラエティショーから発展したところがあって、そんなに物語はなくてもちゃんと見せる。そういうおもしろさがある。

酒井 イギリスとか日本は島国だから、ちゃんと筋を通さないとおさまらない。アメリカの場合は、大陸的な明るさがある。その代わりボンと飛んでいるところがある。ミュージカルでもよく見ると違いますね。「エリザベート」にしてもヨーロッパの音楽は違うなあと感じました。おのずとセットも影響してきますね。

朝倉 観客の方は、なかなかそこまで気が付かれないかもしれないけれど、見る機会が増えるというものが気になってくるでしょう。

酒井 装置というのはあるかぎり飾りであってはいけない。全部その舞台の中で生きてこないという意味がない。だから装置家がここにはこんなものがあつたらい、と作つたけれどしたら、逆にそれを使つていく。あるかぎりは一段の階段でも使つし、使つていくことを考える。100%使うのが演出家の仕事でしょうね。使うことで人間も立つし、セットも立つ。そして作品も良くなつていくんですね。そういうところがありますね。ニューヨークは高層ビルの街だから、ガラスが多い。作品の初演のころも、60年代で高層ビルが増え始めたころだから作られたような設定かなとも思いますし。ストーリーも窓拭きの青年が、ある本を読んでマニユアル通りにやつ

たことによつて出世していく。マニユアル時代の幕開けに対する風刺があつて、あくまでもテーマを象徴するものは窓かなと思つています。

朝倉 このミュージカルは非常にわかりやすいです。現代ものですし、衣装もいまの形でできますし。

酒井 ジョークが一杯積み重なっているんですね。ただ単純に直訳しても、アメリカと日本の感覚の違いでおもしろさが出ないし。その辺りをどう処理すべきか。物語が会社のビルの中だけですし。リアルではむづかしいところもあるので、先生にお願いしてアルデコっぽく飾つていただいた。プロードウェイであれば、出演者の年齢層も外見もばらばらです。宝塚の場合は女性だけで、出演者がある面で揃っている。だからリアルではもたない。あくまでも夢でない。男と女の話で、台詞もストーリーもそのままであつても、演出意図としては夢物語的にはしますね。心理を追究していくことをある程度はしますが、追い込んではいかない。たとえば「上海パンスキング」の男の人と女の人の打算と計算みたいなあたりは、やはり宝塚とは質が違う。

朝倉 そうですね。きれいごとではすまない哀れも汚らしさもいろいろある。六本木の自由劇場で初演したところ、渋谷のコクーンで公演したもののでも、同じ作品でありながら質感が変わつてきている。そういうところが芝居のむづかしさですね。空間が空き過ぎるとおもしろくなくなってくる。

酒井 宝塚大劇場も空間が大きいからむづかしい。逆にいかにその空間で見せるか。舞台の役者の存在感はあるけれども、個性的と言うより全体としてひとつのの見えるか。舞台の真ん中に役者が一人で立つ。もちろんスターであれば空間を埋められるけれども、セットなどをどう使つていくか。ひとつ違うと風が吹く。

朝倉 日本人の感覚は、みんな劇場がワイドなんです。それは歌舞伎です。外国のどんな大きな劇場でも間口は日本の半分しかない。そのぶんプロセニアムアーチは、ずっと高い。そういうところで作られた外国の芝居をワイドな劇場でやるのはむづかしいです。

酒井 だから外国のミュージカルの音楽で歩くと舞台の半分

宝塚大劇場

酒井

朝倉



で曲が終わってしまう。宝塚のパウホールでやると寸法はちようどいいですね。

朝倉 出し物によって劇場も決められれば最高ですが、そうはいかない。むづかしいです。ただ、できるだけ一つのセットでそれが変わるように見えることを考えたいですね。いかにもアメリカ的な、マンガを引き伸ばしたような絵を描く、リヒテンシュタインのアイデアを頂いて「ハウ・ツー・サクシード」は作ってみました。大劇場の横幅を生かして、さらに横を長くしていくセットにしていますし。

酒井 宝塚の場合、紙芝居のごとくセットも変わっていくのが楽しい部分があります。また、宝塚ほど吊りものだけで変えていく劇場も珍しい。小林一三先生が作られたときに、歌舞伎が根底になっていて背景を吊る形のまま来ていますから。朝倉先生は、歌舞伎を知ったうえで、作品のひとつの大きなテーマを捉えてさらにダイナミックな彫刻的なセットで斬新な歌舞伎を作られる。そこが面白いですね。

朝倉 この前見たドレスデンのオペラ公演で「タンホイザー」を全く現代的なセットと衣装でやっていた。発想が全然違う。これを見たときに頭を叩かれたような気分になりましたね。

酒井 ヨーロッパのオペラ、シエークスピアはこれまでのイメージというのを突き破ってしまうようなものが多いですね。あそこまで思い切つて変えてしまうのはすごい。60年代の先生のセットにも同じことを感じました。きれいな、いかにも舞台のセットという固定観念を崩された。セットというより彫刻のような印象を受けました。

朝倉 少しずつ変えていくと、根底から変えてしまうときと二通りあります。日本のものと外国のものとはやはり手法も使う素材も変えますし。

酒井 ニューヨークが大発展したころに出てきたアールデコをテーマにしていただこうと思います。フィナーレの大階段は全面にアメリカを押し出していただいて。

朝倉 あの大階段はいいですね。高さが出ますし、宝塚の決まりものですからね。

酒井 レビュのフィナーレに階段以外の作り物を考えたらその人は新しいレビュ作家だと思えます。いろいろな挑戦はしていますが、大階段に勝てない。人海戦術でどんどん人が出てくるフィナーレには映えます。アメリカのミュージカルのすこいところは、常に現代の問題点を取り上げている。日本であれば躊躇するようなテーマでも取り上げていく。

朝倉 アメリカはやはり若いんですね。躊躇している間なく取り上げる。真面目です。日本人は避けて通るところがある。

酒井 11月の東京宝塚劇場花組公演では、「ハウ・ツー・サクシード」に込められた風刺やセットが作られた背景を感じていただきたいと思います。

●取材協力 宝塚ホテル
(企画・構成 瀬川直子)



佐藤悦枝の作品が舞台上に華やきを加える

第9回'96 K.F.M.ファッションショーより

震災の街KOBEから立ち上がり、 『花衣裳』をエレガントに。



身近で見られるフロアショーにお客様も大満足

7人のモデルたちが震災の街KOBEから立ち上がり
『花衣裳』の創作にとりくんだ
花のように明るく美しく精いっぱい誇らしく咲いて
この街の復興はエレガントにファッションで
心を癒すことから始めたいと...



(財)神戸ファッション協会鬼塚会長のごあいさつに耳をこたむけるモデルたち

神戸ファッションモデルスト (K.F.M.) の震災後初めてにあたるファッションショーが、9月20日 (金) 神戸ポートピアホテルのエメラルドルームにて開催された。正午 (ランチタイム) と三時 (ティータイム)、七時からディナーそして八時から最後のショーと、合計3回、それぞれ200名づつ招いてのフロアショーが超満員の熱気があふれた。司会はショーのプランナーをつとめる小泉美喜子・本誌編集長。「震災後、身を寄せあって生きてきた神戸らしくフロアショーを企画しました。オートクチュールの創作力、技術、素材など一点ものの芸術の世界を七人のモデルが心をこめて贈ります」というあいさ

つからスタートした。

今回から創花人の佐藤悦枝が加わったことにより新鮮な彩りもそなわり、花との出会いをトップにモデルスト市野木悦子、丹野最世子、長井弘子、前川富紀子、大西節子、藤本ハルミの各シーン、そしてパールの田崎真珠、森真珠、木下真珠、タカハシパール、山勝真珠と各モデルスト作品とを組み合わせたラストのシーンへと続く、豪華でセンシブルなショーが繰り広げられた。

演出は、平村雄一郎・ルネッサンス。

音響、照明とも『夢の世界』へ誘うひとときであった。鈴木章子・神戸ファッション専門学校校長は、

「身近で見られるフロアショーに感激した。作品の手づくりの良さが目の前でわかるのは、オートクチュールならではのこと。神戸らしいショーでした」と語る。

ディナータイムには、鬼塚喜八郎・(財)神戸ファッション協会会長もかけつけて「神戸のファッション都市づくりの中でK.F.M.の活躍は、今回のショーで十三年目、第九回を迎える貴重な存在である」と。

森 隆・森真珠(株)の社長は、「素晴らしいショーだった。神戸だけではなく、東京でもぜひ」
大勢のお客様より賛辞をいただき大盛會にて幕をとじた。



'96
"KOBE 7 MODELLISTE"

Haute-Couture Fashion Show No.9

花衣裳



【モデルリスト】

長井 弘子

三越神戸店

オートクチュールサロン

田崎真珠

神戸市中央区港島中町6丁目3-2
TEL. (078) 302-3321





'96

"KOBE 7 MODELLISTE

Haute-Couture Fashion Show No.9

花衣裳



【モデルリスト】
丹野最世子
(ブティック魔女)

Pearl Communication
 KINOSHITA
PEARL
CO.,LTD.





'96

"KOBE7 MODELLISTE

Haute-Couture Fashion Show No.9

花衣裳



【モデルリスト】
藤本 ハルミ
(オートクチュールマーガレット)
前川富紀子
(ニッターズスペース前川)

MORI
Pearls
Co., Ltd.

森真珠株式会社

本 社 / 〒651 神戸市中央区二宮町1丁目4-15
TEL (078) 241-2125代
2F ショールーム / TEL (078) 222-5881代 (駐車場有り・年中無休)
オ ー バ 店 / 〒651 神戸市中央区北野町1丁目J R 新神戸駅口13F
TEL (078) 262-2858代 262-2859 (年中無休)
オーガスタプラザ店 / 〒651 神戸市中央区東川崎町1丁目8-1
オーガスタプラザ3F TEL (078) 360-6050
銀 座 店 / 〒104 東京都中央区銀座5丁目1番地先
数寄屋橋ショッピングセンター1F
TEL (03) 3571-1960代
関空エアロプラザ / 〒549 大阪府泉佐野市泉州空港沖北1番地
タカシマヤ店 エアロプラザタカシマヤ3F
TEL (0724) 56-8188



秋の森真珠展
日時◆10月29日(火)・30日(水)10時～19時
会場◆新神戸オリエンタルホテル(9F 須磨の間)



'96
"KOBE 7 MODELLISTE"

Haute-Couture Fashion Show No.9

花衣裳



【モデルリスト】
市野木悦子
(市野木ニッティングスタジオ)



タカハシパール株式会社

神戸市中央区山本通1丁目6-20
TEL. (078) 221-0075代
FAX. (078) 221-0141





'96

"KOBE 7 MODELLISTE

Haute-Couture Fashion Show No.9

花衣裳



【モデルリスト】

大西 節子

(クチュリエール大西節子)



山勝真珠

本社・神戸市中央区山本通2丁目5-3
TEL. (078) 231-8141



写真右／モデルリスト 大西 節子
左／今回のショーより各モデルリスト作品との
ドッキングという形で新参加した
モデルリストの佐藤 悦枝



創立60周年記念行事

神戸ファッション専門学校

～ファッションってこんなに楽しいものデス～

学生作品展開く



創立60周年を迎えた神戸ファッション専門学校（校長 鈴木章子）では、8月30日（金）31日（土）の午前10時から午後7時、JR神戸駅南側地下の“デュオこうべ”（デュオドーム広場）において「学生作品展」を実施。大好きな洋服のことを学び、ファッションの仕事を目指す同学校生の作品、計300点余りが一堂に紹介された。コンテスト入賞作品やファッションショー作品、スタイル画、ファッションイラストレーション、コンピューターパターンメイキングなど多種多様な力作をオープンスペースにて展示。スタイリスト実習をかねて生徒自らがモデルとなってファッションショーを行うなど、手作り感あふれるおしゃれな展示会として買物客にアピールした。

また、同作品展は11月7日（木）～10日（日）の期間、JR岡山駅前の地下（岡山一番街）でも開催される。

恒例のファッションフェアは平成9年1月19日（日）六甲アイランドファッションマートで行われます。お問い合わせは事務局まで
事務局 TEL(078)241-8611(代)



ファッション都市神戸で学ぶ



■ファッションビジネス学科

(4コース・2年)

スタイリスト&コーディネーター
ファッションアドバイザー
ファッションアート
ファッションデザイン

■ファッションクリエイター学科

(3コース・3年)

アパレルデザイン
アパレルテクニカル
オートクチュール

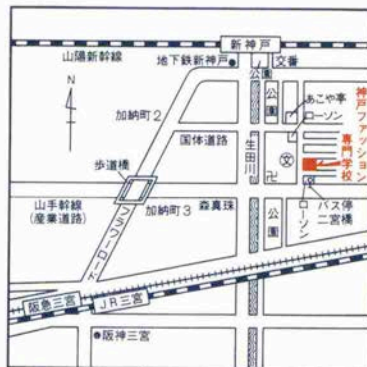
■編入制度

- 短期大学、4年制大学を卒業した人、服飾系の専修・各種学校を1年修了した人は、2年次に編入できます。
- 服飾系の短期大学、4年制大学を卒業した人、服飾系の専修・各種学校を卒業した人は3年次に編入できます。

KOBE FASHION INSTITUTE
神戸ファッション専門学校

神戸市中央区国香通6丁目7番

TEL(078) 241-8611(代)



手造りの風格：
伝統の心を縫う



渡邊 洋服ノ粹

〒651 神戸市中央区磯上通8-1-32
グリーンビル

☎ (078) 251-8501(代)

営業時間 9:30～18:30
定休日 毎週月曜日
第1・3火曜日

K.F.S. NEWS 170

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインストアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246

K.F.S 会員/市野木悦子、長井弘子 K.F.M.のショーに力作発表



市野木悦子作品より



長井弘子作品より

秋のファッションショーシーズンに先駆けて9月20日（金）に'96K.F.M.（神戸ファッションモデルリスト）第9回ファッションショーがポートピアホテル南館エメラルドの間で開かれた。KFS会員として活躍の市野木悦子さん、長井弘子さんも七人のモデルリストの中の二人として参加。当ショーのプランナーでもある本誌編集長の小泉美喜子がオープニングのあいさつをつとめた。震災後はじめてのオートクチュールの豪華フロアショーは大盛況。心をいやすひとときであった。



K.F.S.会員
左端／小泉美喜子
右端／市野木悦子
右端より2人目／長井弘子



新規理事会メンバーも順調に活動をスタート（会長および副会長の面々）
写真手前左より／事業部会 木庭廣知 会長 石原曉美
広報部会 西條幹男
奥左より／総務部会 中村妙子 マンスリー部 村岡 圭

●海外よりの輸入感染症 ①

大腸菌O157について

今、日本では世界中から食料として農産物、畜産食肉類、海産魚貝類等を大量に輸入している。ペットブームにより、犬猫や小型鳥獣も盛んに輸入されている。また、海外旅行に年間1500万人もの人達が出かけている。

そして輸入食料品、ペット、海外旅行者、それぞれに日本に無い感染症をもちこんで問題になっている。その中でも腸管系病原菌が一番多く特に病原性大腸菌については東京大学の竹田美文先生等により次の4種類の菌が要注意として指摘されていた。

- ①病原大腸菌 (EPEC)
- ②細菌進入性大腸菌 (EIEC)
- ③毒素性大腸菌 (EFEC)
- ④腸管出血性大腸菌 (EHEC)

今回問題になっている大腸菌O157は4番目の腸管出血性大腸菌である。この菌はアメリカよりの輸入の食肉によって日本に広がったものと思われる。

1910年頃アメリカにおいて有名な腸チフスメアリー事件が起こった。

メアリーは家政婦として何軒もの家で働き、そのつど家人に腸チフスを感染させていた。本人は発病しないまま、廻りの人達に腸チフスをうつしていた。そのためメアリーは一時抱置されたが、その後調理にたずさわらないという条件で釈放された。数年後ある病院で腸チフスが起こり、その給食調理室でメアリーが発見された。メアリー1人で1500人もの人達にチフスを移していた。

日本でも1950年から1960年にかけて細菌性赤痢が流行し、赤痢菌を体内に持っても発病しない健康保菌者が問題になり、健康保菌者が調理にたずさわらない様に



毎週検便が行われた。時には腸の調子が悪いと、人の便をわけてもらって提出する人もみつきり、本人の体より直接検便することも行われた。

現在O157の健康保菌者で、本人の気の付かないまま元気で生活している人が相当数いるのではないかと思います。本人は元気でも小さい子供や体の弱い人達にとっては非常に危険である。調理に関係する以外の人でも海外旅行経験者や肉食の好きな人は是非O157の検便を受けて下さい。検便は保健所で無料でやってくれます。



サンヨー環境株式会社

社長 田中 正郎

(神戸大学医学部医動物学教室非常勤講師)

兵庫県ベストコントロール協会／健康住宅推進協議会



サンヨー環境株式会社

〒652 神戸市兵庫区島上町2-1-27リッツ島上
TEL (078) 672-0330(代表) FAX (078) 672-1010